KITZ

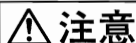
器具設置型 排水用通気弁『通気番ぷち』
(製品記号 AAVP)
取扱説明書

No.DB2-04

この度は、器具設置型排水用通気弁『通気番ぷち』をご購入いただきありがとうございます。本製品を、長期間正しくご使用いただくために、施工前に必ずこの『取扱説明書』を最後までお読みください。また、いつでも見られる場所に保管してください。

安全上のご注意

本製品は、ISO9001の品質システムに基づいた保証体制により製作し、お届けしております。さらに、本製品をより安全にご活用いただくために、必ず安全上の注意事項を最後までお読みの上、正しく施工してください。

ここに示した注意事項は、本製品の取扱いを明確にし、使用に際しての人的危害や物的損害を未然に防止するためのものです。いずれも本製品を正しく施工する上で重要な内容ですので必ず守ってください。

⚠注意 この表示を無視し誤った取扱いをすると、使用者が軽傷を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

1 取扱い上のご注意

本製品を施工する際は、以下の注意事項を厳守してください。注意事項を守らず発生した事故・製品の機能不良については、当社はその責任を負いかねます。

⚠注意	
🚫	●正圧緩和を目的とした通気管(逃がし通気管)及び床下排水管には設置しないでください。『通気番ぷち』は吐出し機能がないので、排水管内の正圧を緩和することはできません。 軸心にずれがあると過大な力が加わり、破損や漏れの恐れがあります。 ●熱湯や熱い油を直接、排水管に流さないでください。 『通気番ぷち』が変形したり、傷んだりし、水漏れの原因となります。 ●『通気番ぷち』に物を当てたり、排水管に物を当てたりしないでください。 ゴムパッキンがずれたり、接合部がゆるんだりして、水漏れの原因となることがあります。 『通気番ぷち』は、メンテナンス時以外は分解しないでください。
❗	●配管工事終了後、排水管内に水を流して、接合部及び袋ナットから水漏れのないようにしてください。水漏れは、室内への異臭の流出および排水が流出し、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。 ●排水管の詰まりや逆流、二重トラップ等で排水が流れにくい場合は、それらの障害を取除いてください。通気以外の障害があると『通気番ぷち』は正常に作動しません。 ●『通気番ぷち』は必ず排水管の軸心を合わせて接続してください。 ●『通気番ぷち』を取付ける前に、設置スペースやトラップと製品の形状寸法を十分に確認し、設置可能かご検討ください。 ●『通気番ぷち』は、ごみや埃が付かないように保管してください。ゴム部品などに異物が付着すると、異臭が室内に漏れる恐れがあります。 ●『通気番ぷち』は、必ずドーム天面が水平になるように取付けてください。 水平以外の向きに設置すると弁体が正常に作動しません。 ●『通気番ぷち』の内部部品は、軽量化のため破損しやすく、またゴム部品には異物が付着しないよう、メンテナンスの際の取扱いには十分注意してください。 ●保守点検が可能な箇所に取付けてください。 ●洗面・手洗器やシンクに、台所または洗面所などで使われる洗剤・殺虫剤・防腐剤・その他薬品類を流すときは、それぞれの容器に表示されている注意事項を必ずご覧ください。 使い方を誤ると、人体に悪影響をおよぼしたり、洗面・手洗器・シンクや『通気番ぷち』がいたみ、漏れの原因となることがあります。洗剤、薬品類を使った後は、必ず、水を流してください。

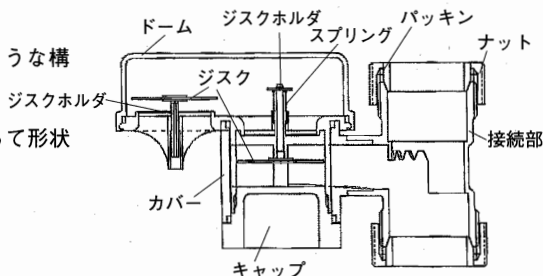
2 製品概要

1） 『通気番ぷち』は、洗面器、台所流し等の器具下の排水トラップ、排水管に設置可能な排水用通気弁であり、排水管内の圧力が大気と同圧時及び正圧時には管内臭気を遮断し、排水によって負圧が生じたときに、空気を取込む機構を有した排水用通気弁です。
2） 逆止弁が、吸気時以外、常に“閉”状態にあり、さらに通気弁との二重シールにより外部への臭気漏れを防ぎます。また、排水の逆流時には水漏れも防止します。
3） 『通気番ぷち』から通気、逆止弁部を取り外すことができるので、『通気番ぷち』本体、排水管内の点検、清掃などメンテナンスが行えます。
4） 本体部が最大200°の範囲で回転しますので、ナット締付後のスペースもコンパクトです。

3 製品構造

『通気番ぷち』は、図1に示すような構造及び部品構成になっています。

＊） 接続部は接続する器具によって形状が異なります。
（図は､洗面･手洗器用）

図1

4 施工方法

【施工前の確認】

■『通気番ぷち』のサイズと通気管径

『通気番ぷち』を取付ける前に、設置スペースやトラップと製品の形状寸法を十分に確認し、設置可能かご検討ください。
また、以下の接続する排水トラップおよび排水管径に対応しています。

◇洗面・手洗器用(AAVP-L32) ------------ 呼び径25A,32A(トラップ口径*25[mm]、30[mm])
◇キッチン流し用(AAVP-K40)------------- 呼び径40A
◇洗面・Pトラップ用(AAVP-P32) -------- 呼び径25A,32A(トラップ口径*25[mm]、30[mm])
◇キッチン流し・横管用(AAVP-H40)-- 呼び径40A、50A(T継手:40×40、50×40に対応)

＊トラップ口径はHASS206による。

■製品のチェック

箱の中に、以下のものが同梱されていることを確認してください。

・『通気番ぷち』--- 1 ヶ
・25[mm]パッキン（洗面・手洗器用，洗面・Pトラップ用のみ）---------- 2 ヶ
・スペアパーツのゴムパッキン、袋ナット（キッチン流し用のみ）---------- 各1ヶ
・取扱説明書 -- 1 通

上記のチェックで異常が認められた場合は、お手数ですが購入先へ連絡してください。

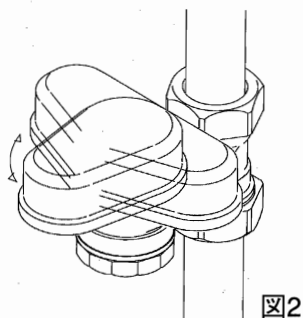
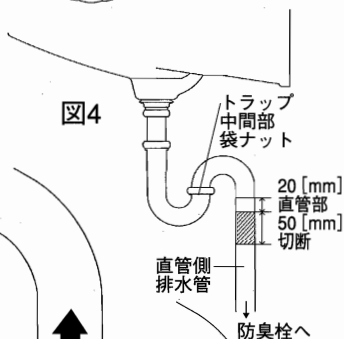
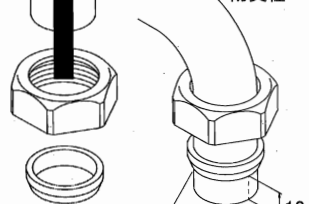
【取付け方法1】～洗面・手洗器用～

■取付け方法の留意点

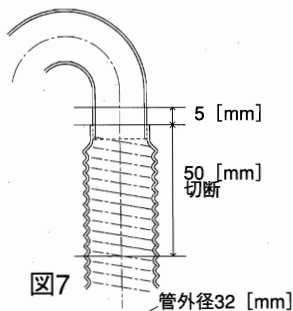
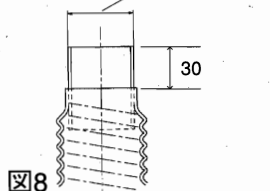
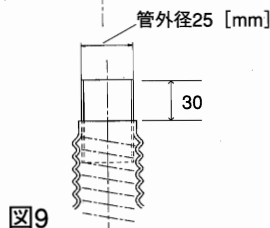
・『通気番ぷち』は、収容物等で空気の流入を防げないように設置してください。
・『通気番ぷち』はドーム部が回転（最大200°）しますので、胴体部を保持するようにして施工してください。（図2）
・Sトラップ内に、水が溜まっていますので、取扱い時には注意してください。
・接合部から水が漏れないようにしてください。
・『通気番ぷち』の側面の矢印（↓：流れ方向）に注意して取付けてください。（図3）
・袋ナットは樹脂製ですので、手で締め付けてください。
・トラップ管外径が、25［mm］の場合『通気番ぷち』本体に装着された32［mm］用パッキンを取り、同梱の25［mm］用パッキンと付け替えてください。（図3）

■洗面器用の取付け方法

○硬質タイプの場合

1）トラップ中間部の袋ナットを外し、器具下部の防臭栓より排水管を引き抜いてください。
2）トラップの曲がり部終端から、直管部20［mm］を残したのち、50［mm］を切断してください。（図4）
3）切断した面（トラップ側、直管側）のバリを取り除き、『通気番ぷち』本体から、パッキンと袋ナットを取り外して、切断後の排水管各々に、袋ナット、パッキンの順番で取付けてください。（図5）
4）パッキンは、挿入向きに注意し、切断面端部より、10［mm］程度押込んでください。（図6）
5）『通気番ぷち』本体矢印（↓：流れ方向）を確認し、トラップ側排水管端部が、本体奥に当るまで差し込み、袋ナットを軽く締め付けてください。
6）直管側の排水管を下部の防臭栓に差し込みながら、トラップ中間部の袋ナットを締め、排水管全体を取り付けてください。
防臭栓が正常に納まっていなければ、水漏れの原因となります。
7）袋ナットを締め付ける際には、パッキンを正規の位置に納めて、接合部が外れないように袋ナットを手で締め付けてください。
正しく接合されていないと、水漏れや異臭の原因となります。

○ジャバラタイプの場合

ジャバラタイプへの接続は、外径32［mm］または25［mm］の短管をご用意ください。また、メーカーによって　ジャバラ部分が異なる場合がありますので、『通気番ぷち』本体との接続には十分注意してください。

1) ジャバラタイプの切断では、トラップ形成部分は避け、ジャバラ　部と直管部の境目から5［mm］程度上方を切断してください。（図7）
2) ジャバラ管側は切断部よりを50［mm］を切断してください。（図7）
3) ジャバラ　管内径が32［mm］より大きい場合との接続は、ジャバラ端部に外径32［mm］の短管を差し込み、短管30［mm］程度をのこし、粘着テープで固定してください。（図8）
また、ジャバラ　管内径が32［mm］より小さい場合との接続は、25［mm］の短管を用いて、粘着テープで固定してください。（図9）
4) 硬質タイプの取付け方法3）以降を参考に『通気番ぷち』本体を取付けてください。
5) ジャバラ配管を防臭栓に差し込む場合は、50［mm］程度防臭栓に差し込み、ジャバラ配管と防臭栓の境目を中心に、外側より粘着テープを巻いてください。防臭栓が正常に納まっていなければ、水漏れの原因となります。
6) 袋ナットを締め付ける際には、パッキンを正規の位置に納めて、接合部が外れないように袋ナットを手で締め付けてください。正しく接合されていないと、水漏れや異臭の原因となります。

【取付け方法2】～キッチン流し用～

■取付け方法の留意点

・キッチンの排水トラップ＊）に『通気番ぷち』を取付けます。（図10）
・キッチンの排水トラップに使用している袋ナットとゴムパッキンは『通気番ぷち』と排水管の接続時に、再度使用しますので取扱いには、十分注意してください。また、ゴムパッキン、袋ナットを確認して頂き、破損、劣化、形状の差異等がある場合は、同梱のスペアパーツをご使用ください。
・排水トラップより、水等が流下する恐れがあるため、注意してください。
『通気番ぷち』本体を下部の排水管に接続するとき、本体の矢印（↓：流れ方向）に注意してください。（図11）
・接合部及び袋ナットから水が漏れないようにしてください。
・袋ナットは樹脂製ですので、手で締め付けてください。
＊）『通気番ぷち』は、排水管の呼び径40A（管外径48［mm］）の塩化ビニル管と接続可能な2インチ袋ナット付キッチン排水トラップに対応しています。

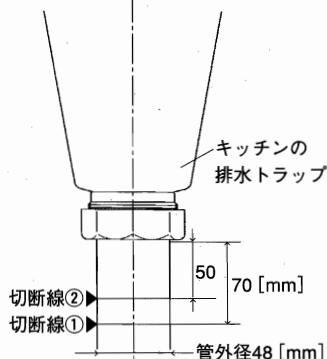



図7
図8
図9
図10

■取付け方法（P4つづき）

○塩ビ管の場合

1) 排水管固定タイプの場合、差込みしろ分を考慮して排水トラップ下部の袋ナットの端部より70［mm］、50［mm］の箇所にマーカー等で水平の切断線を引いてください。
2) 金ノコ等を用いて、70［mm］、50［mm］の切断線①、②に沿って、切断してください。（図10）
3) 排水トラップに装着している袋ナットを緩め、排水トラップに差込まれた排水管を抜取り、ゴムパッキン、袋ナットを取り外してください。（図12）
4) 下部排水管の切断面のバリを取り除き、取り外した袋ナット、ゴムパッキンを20［mm］程度挿入してください。（図12）
5) 排水管が接着によって固定されている場合は、流し台シンクと排水トラップとを固定しているナットを緩め、排水トラップを持ち上げて、『通気番ぷち』本体を取付けてください。
6) 『通気番ぷち』本体に下部排水管を挿入した後、排水トラップを元の位置にセットし、ゴムパッキン等は正規の位置に納め、袋ナットを締付けてください。
7) 排水トラップのネジに、『通気番ぷち』本体を押し当て、袋ナットを締付けてください。
8) 下部排水管に挿入していたゴムパッキンを『通気番ぷち』本体のネジ部へ押し当て、袋ナットを締付けてください。正しく接合されていないと、水漏れや異臭の原因となります。

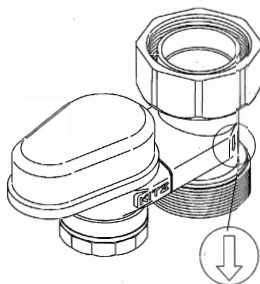



図11

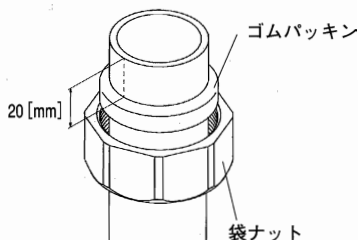



図12

○ジャバラタイプの場合

1) ジャバラタイプの接続は、ジャバラ管の接続部にゴムパッキンが付属していることと、袋ナットの高さを確認してください。（図13）
2) ジャバラ管は“たるみ”のないように接続してください。
3) 1・1/2インチ袋ナット付キッチン排水トラップの場合は、流し用アダプター（市販品）をご使用ください。
4) 流し用アダプターをご使用の場合は、部品を確認の上接合部が外れないように袋ナットを手で締め付けてください。（図14.15）

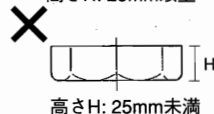
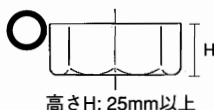



図13

◇流し用アダプター部品構成一例

- 排水アダプター…………1ヶ
- 平パッキン………………1ヶ
- 排水ホースアダプター…1ヶ

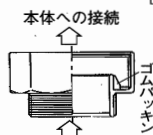



図15

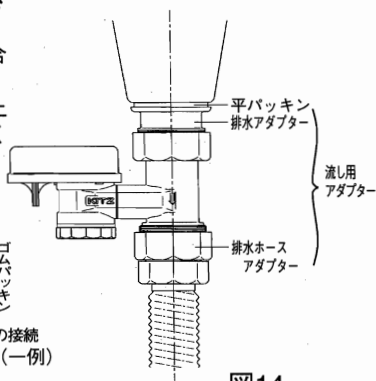



図14

【取付け方法3】～Pトラップ用～

■取付け方法の留意点

・『通気番ぷち』は、収容物等で空気の流入を妨げないように設置してください。
・Pトラップ内に、水が溜まっていますので、取扱いに注意し、作業してください。
・Pトラップ管外径が、25［mm］の場合、『通気番ぷち』本体に装着された32［mm］用パッキンを取り、同梱の25［mm］用パッキンと取り替えてください。（図16）
・接続部が防臭栓の場合は、切断時および切断後排水管が不安定になりますので、ご注意ください。
・接合部及び袋ナットから水が漏れないようにしてください。
・袋ナットは樹脂製ですので、手で締め付けてください。

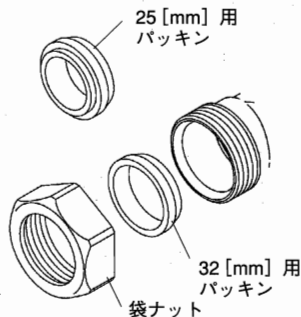



図16

■取付け方法

1）トラップの曲がり部終端から、直管部105［mm］の間隔で印を付け、その中心部へ向かって両端20［mm］の位置に切断線①、②を引いてください。（図17）
2）中心部の幅65［mm］を確認し、壁側の切断線①を金ノコ等で切断してください。
トラップ側の切断線②は、トラップ中間部の袋ナットを取外した後、切断してください。（図17）
3）切断した面（トラップ側、直管側）のバリを取り除きます。
4）『通気番ぷち』本体から、パッキンと袋ナットを取り外し、切断後の排水管各々に、袋ナット、パッキンの順番で取り付けてください。挿入向きに注意して、切断面端部より、10［mm］程度押込んでください。（図18）
5）『通気番ぷち』本体を排水管に差し込み、袋ナットを軽く締め付けてください。
6）壁部の防臭栓が、正常に納まっていることを確認し、直管側の排水管を防臭栓に差し込みながら、トラップ中間部の袋ナットを締め、排水管全体を取付けてください。防臭栓が正常に納まっていなければ、水漏れの原因となります。
7）袋ナットを締め付ける際には、パッキンを正規の位置に納めて、接合部がはずれないように袋ナットを締め付けてください。正しく接合されていないと、水漏れや異臭の原因となります。

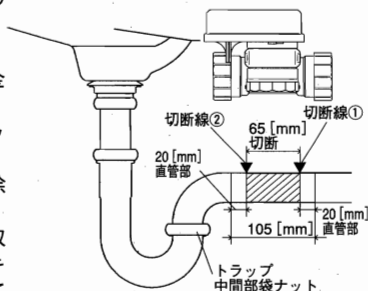



図17

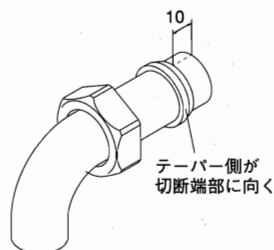



図18

【取付け方法4】～キッチン横管用～

■取付け方法の留意点

・『通気番ぷち』は、収容物等で空気の流入を妨げないように設置してください。
・横管内に、水が溜まっている恐れがありますので取扱い時には注意し、作業してください。

■取付け方法

1) 排水横管の管径を確認し、管径40の場合は、40×40のT継手と管径50の場合は50×40のT継手を用意してください。
2) T継手と『通気番ぷち』の接合は、塩ビ管用接着剤を用いて、空気漏れのないように接着してください。
3) 接着剤を塗布するときは、塩ビ管継手側に塗布してください。やむを得ず『通気番ぷち』側に塗布する場合は、『通気番ぷち』を垂直に立て、接着剤が内部に流入しないように十分注意して塗布してください。逆さなどで塗布して接着剤が内部に流入すると、弁体が正常に作動しません。また、はみ出た接着剤は、ウエス等で拭き取ってください。（図19）

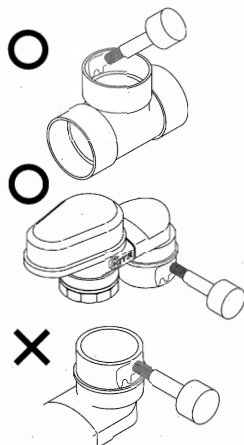



図19

4) 既設排水管への接続は、チーズの差込みしろ（22［mm］程度）を十分に確保し、切断してください。
（切断長さ：55～60［mm］程度）（図20）
5) T継手には差込みしろがあるため、排水トラップの袋ナットを取外してから、T継手を挿入し、袋ナットを締付けてください。

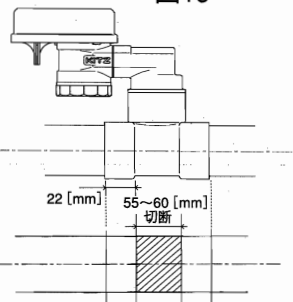
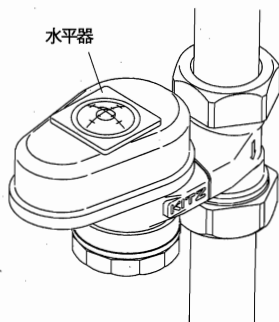



図20

■取付け形態での注意点

1）『通気番ぷち』を取付ける前に、設置スペースやトラップ形状寸法を十分に確認し、設置可能かご検討ください。
2）『通気番ぷち』は、必ずドーム天面を水平に取付けてください。水平以外の向きに設置すると弁体が正常に作動しません。（図21）
3）『通気番ぷち』は、空気の流入を防げない場所に設置してください。
4）『通気番ぷち』は、正圧緩和を目的とした通気管、排水管に、設置しないでください。『通気番ぷち』には、吐出機能がないので、排水管内の正圧を緩和することができません。
5) 排水管の詰まりや逆流、二重トラップ等で排水が流れにくい場合は、それらの障害を取除いてください。通気以外の障害があると『通気番ぷち』は正常に作動しません。
6) その他、排水・通気管の配管システムは、給排水設備規準に従ってください。誤ったシステムでは、通気弁本来の性能が発揮できない恐れがあります。
7) 保守点検が可能な箇所に取付けてください。
8) 配管工事終了後、排水管内に水を流して、接合部及び袋ナットから水漏れのないようにしてください。

図21

■取扱い上の注意点

1）『通気番ぷち』は、ごみや埃が付かないような場所に保管するようにしてください。ジスク（ゴム部品）などに異物が付着すると、異臭が室内に漏れる恐れがあります。

2）出荷時に、ドーム部の嵌合部に貼付けている封印テープは、使用者が安易に分解しないためのものですので、剥がさないでください。また、内部部品は、軽量化のため破損しやすいので、落下、衝撃等を加えない様にメンテナンスなどの際の取扱いには十分注意してください。

5 メンテナンス方法

『通気番ぷち』は、万一故障が発生した場合に備えて、分解・点検ができるようになっています。以下の手順に従って正しく行ってください。（図22,図23）

また、弁部に厨芥物や油が付着した状態では製品の劣化を早めてしまいます。排水に異常があったときは、分解点検を行ってください。部品の消耗がある場合には交換が必要です。

【分解方法】

①排水器具から排水管への排水の流下が無いことを確認してください。

②ドームを手で包むように押え、キャップを左に回し、取外します。取外し箇所より、水が流下する恐れがありますので、注意してください。

③ドーム底面を持ち、真上に引抜きます。

【点検方法１：ドーム】

④ドーム底面の弁体に付着物が無いことを確認してください。付着物が認められた場合は、水道水で洗浄してください。

【点検方法2：本体】

⑤本体内部に付着物が無いことを確認してください。付着物が認められた場合は、水道水で洗浄してください。

【組立方法】

⑥洗浄した部品の水分を取り除いてください。

⑦キャップ外周にOリングをねじれのないようにはめてください。

⑧本体を手で支えながら、ドームを上から差し込みます。

⑨ドームを手で包むように押え、本体下部より、キャップをねじ込みます。キャップは樹脂製ですので、手で締付けてください。

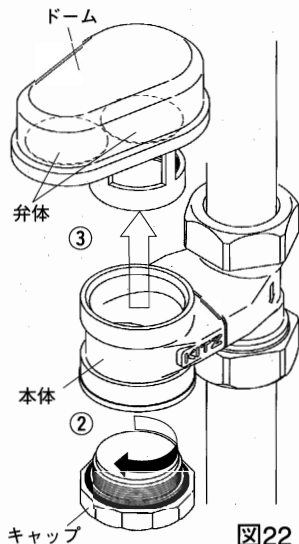



図22

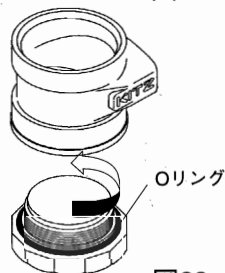



図23

日本で最初にISO9001認証取得

株式会社キッツ

本社 〒261-8577千葉市美浜区中瀬1-10-1

北海道支店	☎011-733-2225	大阪支社	☎06-6541-1178
東北支店	☎022-296-2317	中国支店	☎082-248-5903
東京支社	☎043-299-1705	九州支店	☎092-431-7877
中部支社	☎052-562-1541	給装営業部	☎043-299-1760